

(様式 1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：一般財団法人長野県剣道連盟]

[記載日：令和6年3月26日]

【対応状況に係る自己評価】

- A : 対応している
- B : 一部対応している
- C : 対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」、本連盟定款および各種規程を遵守し、適切な団体運営および事業運営を行っている。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) (1) に同じ また、事業計画、事業報告、会計予算書、会計決算報告書等を作成し、理事・評議員会で承認を得た上で運営している。行事開催にあたっては、使用する公的施設との事前打合せを綿密に行うとともに当該施設使用規則、安全管理に関する規則等を遵守している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づいて役員を選出し、定時理事会、定時評議員会において前年度の事業および会計決算報告（監査を含む）と承認、本年度の事業計画および予算の承認を行っている。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般財団法人として定款を設けている。連盟 HP 上で公表している。また、本連盟の基本方針（強化に関する内容）について策定および公表し、会員への周知を図った。
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 本年度の理事・評議員会において、関係資料をもとに短時間ではあるが内容の説明を行った。次年度は時間を多くとり、研修を行う予定である。
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 予算執行にあたっては、二重のチェック体制を確保し、適切かつ公正な会計処理に努めた。理事会および評議員会において、会計報告書ならびに予算書を提示し、適正な処理を行っている。
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 補助金の交付を受ける団体の関係規則等を遵守し、適切に処理している。

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A
公認会計士の指導のもと適切な会計処理を行っている。また、会計決算は監事による監査を適切に行っている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A
一般財団法人として開示が必要となる情報を精査し、連盟 HP 上での公開を進めている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A
本連盟定款に基づき、連盟HP上で情報開示を行っている。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則■について (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
原則■について (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	